

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	田口 太郎
連絡先メールアドレス	taguchi0@kyushu-ns.ac.jp
役職・職名	准教授
所属	鍼灸スポーツ学科
略歴	<p>明治鍼灸大学（現：明治国際医療大学） 鍼灸学部 鍼灸学科 卒業 明治鍼灸大学大学院（現：明治国際医療大学大学院） 鍼灸学研究科博士前期課程 修了 九州看護福祉大学 看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科 准教授 全日本鍼灸学会 認定鍼灸師 日本体力医学会 健康科学アドバイザー</p>
取得学位	学士（鍼灸学） 修士（鍼灸学）
担当科目	生理学Ⅰ／Ⅱ／Ⅲ（講義・演習），きゅう基礎実習Ⅰ／Ⅱ，臨床コミュニケーション，鍼灸臨床実習Ⅱ／Ⅲ，鍼灸治療所実習Ⅰ／Ⅱ，研究方法論，社会鍼灸学演習，卒業研究論文
専門分野	災害鍼灸 社会鍼灸学（鍼灸特区） 統合医療 視覚誘発電位
所属学会	全日本鍼灸学会，日本災害医学会，日本統合医療学会，日本体力医学会，日本東洋医学会，日本看護科学学会
現在の研究テーマ	<p>災害鍼灸の役割 疲労の指標としての酸化ストレス度・抗酸化力 鍼灸治療と医療保険制度／国民医療費（玉名鍼灸特区構想） 世界の鍼灸事情</p>
教育研究業績 (著書・学術論文等)	<p>「鍼灸による更年期症状と仰臥位から立位への体位変換時の自律神経系活性の変化」第37回日本看護科学学会学術集会 2017（共同発表） （単著）「熊本・大分地震災害支援活動報告② ～行政・多職種医療チームとの連携」鍼灸 OSAKA Vol.32, No.1, 111, 2016 Spring （単著）「ISO/TC249 第7回全体会議レポート：初参加の視点から」鍼灸 OSAKA Vol.32, No.1, p109-115, 2016 Summer 「運動習慣がある人は酸化ストレス耐性が高いか？～酸化ストレス度・抗酸化力を指標として～」 第1回日本統合医療学会九州ブロック学術講演会 2015（共同発表） （単著）震災初期における鍼灸医療の役割，九州看護福祉大学紀要，Vol.12, No.1, 5-12, 2012</p>
社会活動・社会貢献	<p>(社)全日本鍼灸学会学術研究部 安全性委員会委員 JLOM(Japan Liaison of Oriental Medicine：日本東洋医学サミット会議)メンバー ISO/TC249 エキスパート(アカデミア) 熊本地震 鍼灸医療支援（熊本県災害対策本部救護班）</p>